



2013年12月18日発行：北星学園余市高等学校

Vol.46/'13 Winter

北星余市は、いま!

HOKUSEI YOICHI HIGH SCHOOL



★「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。」(エフェソの信徒への手紙 5章8節)



仲間・友情・団結
北星余市の特長が遺憾なく発揮される学校祭!

爽やかな秋晴れの中、クラス対抗合唱コンクールを盛り上げた模範店や、工夫を凝らした模擬店や、様々なイベントに生徒だけでなくPTAやOBも盛り上がりました!!



学校祭

Our School Life Autumn-Winter

Including

修学旅行

生徒会

ボランティア

部活 課外活動 etc.

親たちの卒業文集 北の星46

「逢えてよかった」

北星学園余市高等学校PTA (1冊 1,000円)
入学前から卒業までの保護者の様々な思いが語られています。購入希望の方は、学校までお問い合わせください。

第49回北星



Youtubeにて、スライドショー動画公開中!
<http://www.youtube.com/user/hokuseyoichi/>

2014年度 入学試験概要

◆1年生募集 ◆2・3年生募集(転・編入)

- 1年生募集/普通科140名
小・中学校時代の不登校経験者も、北星余市でがんばりたいという人は歓迎します。
- 推薦入試 試験日/1月25日(土)
○出願期間/1月14日(火)~1月23日(木) 必着
○試験科目/面接のみ・合格発表/2月3日(月)
- 一般入試 試験日/2月21日(金)
○出願期間/1月14日(火)~2月19日(水) 必着
○試験科目/国語・数学・英語/面接
○合格発表/2月28日(金)
- 2・3年生募集/転・編入試験
在籍している学年、または中退した学年から受け入れます。
- 2年生出願資格…全日制、定時制、通信制、単位制の高等学校で、原則26単位以上修得している者(修得見込みの者を含む)が2年に転・編入できます。
- 3年生出願資格…全日制、定時制、通信制、単位制の高等学校で、原則52単位以上修得している者(終了見込みの者を含む)が3年に転・編入できます。
○募集人員/2年(40~50名)・3年(20~30名)
○試験日/3月28日(金)
○出願期間/1月14日(火)~3月26日(水) 必着
○試験科目/国語・数学・英語/面接
○合格発表/4月1日(火)
- ◆1・2・3年生
- 予約面接…子どもと親の面接のみによる試験です。「勉強は苦手だけど思いは伝えたい」という方はぜひ!詳細は入試要項を確認いただくか直接お電話下さい。
○試験日/12月2日(月)~4月1日(火)
○出願期間/11月1日(金)~4月1日(火) 必着

●学校見学随時受付中!

- 本校では随時学校見学を受け付けております!平日の朝9時から夕方5時まで、希望の日程を事前にご連絡ください。希望者には下宿見学も紹介しております。「実際の空気を感じてから考えたい」という方、お待ちしております。

●新設! 入学金減免制度

- 収入等の基準に則って、入学金を全額免除もしくは一部を減免いたします。
- A免除: 入学金 全額免除
※本校の入学金は248,000円です
- B免除: 入学金より 148,000円免除
—詳しくはお問い合わせください。

2014年 教育相談会 開催日程

本校教師が各地へ出向き、学校説明・個人相談会などを行います。

【会場・開催時間などについては】

- ◆ホームページのトップページ→「保護者の皆様へ」→「教育相談会」へ進んでいただければ詳細がご覧いただけます。
- ◆また、携帯電話で右記<QRコード>を読み取ってもアクセスすることができます。



2/15(土)	愛知	ウインクあいち [13:30~16:30]
	福岡	アクロス福岡 [13:00~17:00]
2/16(日)	埼玉	埼玉会館 [13:30~16:30]
	兵庫	兵庫県民会館 9階 [13:30~17:00]
3/8(土)	東京	品川
3/9(日)	大阪	エル・大阪 [14:00~17:00]
	札幌	未定



「生き方を紡いでいく」

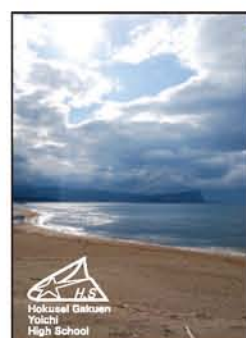
学校長 安河内 敏

先日、余市町内で行われた地域振興の会議で、今から13年前に卒業した生徒のお父さんとお会いする機会がありました。必然、卒業生である息子さんの話になります。それによると彼は今、タイで包装資材を扱う会社の現地統括の仕事をしているということでした。そして奥さんはタイの人で国際結婚。子どももスクスクと現地で育っているよう。お父さんは、「いやいや向こうでの結婚式は現地式で慣れず大変だったよ」「来週ヤツのところに行ってくるんだ」と大変だと言いつつ、とても嬉しそうでした。そう言えばすぐその前にも、7年前に卒業した生徒が本校の教育相談会にお手伝いに来てくれ、シンガポールでサッカーのプロチームの現地少年サッカー養成の仕事をし



て、今は日本に帰ってきてそのプロチームの選手育成事業に携わっていることを語ってくれました。また、facebookを見ると、色々な子が海外にいるのが伝わります。いったい何をしているのかは詳しくわからないのですが…本校ではけっこう英語の苦手な生徒が多いはず。たぶん海外に行くようになってから、あるいは行ってから必要にかられて勉強したのではないかと推察しています。

いっぽう、厚生労働省が毎年実施している「新規学校卒業就職者の就職離職状況調査」によると、2012年には、高卒で就職した人のうち3年以内に離職する人は、全体の37.6%、大卒で就職した人のうち3年以内に離職する人は全体の30.0%もいることがわかります。今年も3年生が進路に向かって、一生懸命動いています。しかし、どこかに所属すること自体を目標にするのではなく、自分の生き方を紡いでいくことを目標にすることが大切なのだと考えます。卒業生たちの生き方がそのことを伝えてくれているような気がします。



■お問い合わせ先

キリスト教主義学校・全日制・普通科・共学

北星学園余市高等学校

〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1 校長 安河内 敏

■お問い合わせ窓口 入試担当 塩見 耕一・田中 亨

TEL 0135-23-2165 FAX 0135-22-6097

<http://www.hokusei-y-h.ed.jp/> E-mail hokuseiy@hokusei-y-h.ed.jp





第49回 北星祭 9/21(土)22(日)

愛があれば都市の差なんて

出身も年齢も育った環境も全く違う生徒が
全国から集まってくる...

Our School Life Autumn-Winter

そんな全ての生徒達に向けて、
年の差も都市の差も超えて
愛のある関係を築いて欲しい。
そんな2日間になってくれたらいいな。
——北星祭・生徒会スローガンへの思い

「生徒会文化委員長として」

文化委員長
3年A組
山口 一樹
(岐阜県)



僕たち生徒会は、「愛があれば都市の差なんて」というスローガンを掲げ、北星祭の準備から片づけまで取り組みました。準備の段階では、どういふ企画をしたら全校生が楽しんでくれるのか、時間をかけて議論しました。とにかく、事前準備はいろいろと疲れました。

それでも、学園祭当日、思っていた以上に全校生が企画などで盛り上がり、自分たちのクラス企画も、大成功で終ることが出来ました。

47期前期生徒会の大仕事が終わって、正直ホッとしました。来年度の北星祭も、新しい生徒会を中心に、全校生で盛り上げてほしいです。



「クラスが一つの方向に」

3年A組 横山 尚弘 (富山県)

自分は、今年の学園祭に委員長という立場で参加しました。今までは、誰かの指示で言われたことをやるという形では参加してきませんでした。しかし今回は立場上、クラスを一つにまとめ上げて、クラス全員に役割を与えなくてはならないと考えていました。自分は、人をまとめるというところがすごく苦手です。そんな自分に何が出来るのか、毎日悩んでいました。

しかし、そんな心配は無用でした。3年生ということもあり、クラスの皆が一人一人自分から仕事を見つけ、作業に取り組んでくれました。それでも、意見がぶつかり合ったり、少しのミスからイライラしたりで、もめごともありました。

それらを乗り越え、最終的にはクラスが一つの方向に向かったことは、とてもうれしかったです。残り短い学校生活ですが、このクラスで悔いの残らない学校生活を送りたいです。



「最後の北星祭」

3年B組 松崎 友亮
(神奈川県)

今回の北星祭は、今までとは違った。まず、クラスのみならず引張っていく委員長が、不在だった。委員長がいないため、自分を含めた副委員長3名で物事を決めることになったのだが、これがすごく大変だった。

学祭の準備が始まって、周りをしっかり見る余裕がなかったからか、合唱練習の時にめもめごとが起きてしまった。その時は「もめたりするのは嫌だ」と思っていたけど、今思えば、もめたことがきっかけになってみんなの団結力が大きくなった気がする。そのおかげで、合唱では最優秀賞を取ることができた。

クラス企画の内装も、自分たちが想像していた以上に良い出来になった。特にスナック菓子の袋や空き缶などで製作したものや大きな団扇、そして肉巻きおにぎりはすごく良かった。出来れば去年の学祭の時のように、学校を辞める人も留年する人もいない状態で、みんなで学園祭をやりたい。でも、辞めた人も留年した人も、自分たちなりに頑張っているし、そこは本気で応援したいと思っている。

北星に入学してから3回目となる北星祭は、今までで一番大変で一番楽しく、一番達成感があり一番思い出に残る北星祭だった。北星に来て、本当に良かったと思う。



《合唱コンクール》

最優秀賞
3B「アンマー」
優秀賞
3A「TRAIN-TRAIN」

《クラス企画》

最優秀賞：3C
優秀賞：3B
佳作：3A
努力賞：1B

「大きな達成感」

3年C組 木原 瑠美
(神奈川県)

北星生活最後の文化祭は、今までで一番まじめに取り組んだ分、とても大変でした。

クラス委員長としてみんなに説明したり、指示をしてまとめなきゃいけない中、合唱のピアノ伴奏をやることになりました。作業の合間や休み時間、そして放課後にも何度も何度も練習したけど、みんなの歌と合わ

せたら、全然リズムが違って、当日までの時間も無く、練習不足のまま、本番はみんなに迷惑をかけてしまいました。

教室の装飾は、デザインを上手く説明できず、クラスのみながイメージをつかめず戸惑っていました。それでも、作業を進めるにつれて、だんだん良いものが出てきて、準備の最終日は、みんな夜中まで残って作業しました。無事に完成した時の達成感が、ハンパなかったです

当日は、合唱のピアノ伴奏で失敗してしまい、みんなに申し訳なかったです。教室の装飾は、思ってもいなかった最優秀賞で嬉しかったけどびっくりしました。最後の文化祭は、本当に苦労した分、良い思い出になりました。



「みんなが楽しめた！」

1年B組 内藤 みわ (大阪府)

自分にとって今回が初めての北星祭！最初はペンキの塗り合いとかで、めっちゃ楽しかった。髪の毛も顔も服もペンキだらけで、みんなでワイワイ楽しかった。

でも後半、「間に合わない！」ってなって、ピリピリしながらなんとか完成！って感じだった。合唱の練習も含めて色々なことがあったけど、B組も最初よりはまとまったと思うし、ひとつになれたかなって思う。色々あったけど、楽しかった！来年がめっちゃ楽しみ♡♡♡なんせ、みんな楽しそう良かった。来年もがんばろう！！！！



「楽しさ2倍の北星祭」

2年B組 佐藤 帆奈美 (北海道)

今年で2度目の北星祭。私は、クラス委員長として、クラスでの企画はどうするか、合唱は何を歌うのかを話し合うために頑張りました。最初は、みんながちゃんと協力してくれるのかとか、自分が委員長でまとまるかなとか、いろいろと心配でとても不安でした。

でも、いつも一緒にいてくれる大好きな友人がそばにいてくれたから、不安に負けずに出来ました(笑)。当日まで、クラスのみんなで作り上げることもでき、北星祭当日も大成功でした。合唱も、伴奏者がいなかったけど、みんなでアイデアを出し合って、楽しい合唱が出来ました。

委員長をしていたおかげで、普段あまり話すことが無かった人ともかかわれたので、委員長として過ごした今年の学祭期間は、楽しさ2倍でした。



11月19日、進路に関するワークショップを行いました。当日は6名の卒業生のみならずにご協力いただき、それぞれ約10名の3年生と一緒にグループに分かれて交流するという初めての試みです。ワークショップの1週間前のLHRでは、卒業生のプロフィールや現在の職業などをまとめた資料として事前のアンケートを参考にし、どの卒業生のグループで学びたいのか希望調査を取りました。



当日は、卒業生の方からは、現在に至るまでの歩みを、失敗談や挫折体験、そしてそれを克服しようとして乗り越えたのかなどをまとめて、じっくりと語ってもらいました。

- 自分や他人を思いやる力
- 人間関係の中で生じる葛藤に負けない心や、仲間を大切に思う気持ち
- 人前に立つこと。イベント事の企画は積極的になりました
- 少々のことではあきらめないぞという「あきらめない力」
- 幅広い友達とうまくやっていく力、勉強して楽しいなと思うこと

アンケートには、説得力のあることが並びます。

北星余市高校でつけた力は、どんな力だと思えますか？



卒業生6名を招いて進路のワークショップ



Our School Life
Autumn-Winter



「クラス全体と仲良くなれた修学旅行」

2年B組 野中 智浩 (東京都)

修学旅行に行きました。自分は、実行委員という立場として、旅行に行きました。

沖縄に行く間の飛行機で、まさかの整備不良が見つかり、先輩方から一番楽しいと言われていた国際通りが、例年に比べて回ることが出来ず「つまんねえじゃん！」って思っていました。

でも2日目からは、毎日が楽しくて仕方がなかった。高校中退のオレが、もし北星余市に来ていなかったら、こんな楽しい事も出来なかったのかと考えると、本当に来てよかったと思いました。両親、兄姉、元担任には、マジで感謝！つまらなかった北星生活も、修学旅行の後だとやっぱ違う。クラス全体と仲良くなれたから、とても楽しい。

在校生のみんな、そしてこれから入学する後輩にも、絶対に味わってほしいね！



写真左：野中くん

修学旅行 11/1(金)~5(火)

美しい海、自然、文化を擁する沖縄は、一方で戦争の傷跡が色濃く残る地でもあります。生徒たちは、沖縄を訪れるにあたり修学旅行実行委員会を立ち上げ、平和、レクリエーション、しおり・ニュースの係がそれぞれ有意義な旅となるように工夫を凝らします。

沖縄



「修学旅行を終えて」

修学旅行実行委員長
2年A組
柿内 慧太 (千葉県)



僕にとっては2回目の修学旅行です。今回の2度目の修学旅行では、実行委員長をやらせてもらいました。実行委員のみんなと、そして学年のみんなと、いろいろな話をしながら準備をした修学旅行は、2度目でもすごく楽しかったです。

飛行機トラブルになったときは焦ったけど、戦争の恐ろしさを学び、マリンスポーツでは綺麗な海で遊んで、美ら海水族館や首里城、他にもいろいろな事に全力で楽しんで取り組めたと思います。

残念ながら少々問題も起きましたが、その日は夜遅くまで皆で話し合いをしたり出来ました。バスの中では、自分のクラスのみんなとすごく盛り上がりうれしかったです。

少しだけイライラしたり、残念なこともあったけど、それらをふまえて48期の修学旅行は最高でした!!



「また行きたい！」

2年A組 佐藤 真弥 (神奈川県)



修学旅行の1日目。沖縄に向かってる途中で、飛行機に不具合が生じ、羽田空港に1度戻ったときは、正直言って修学旅行はちょっとだるいなって思った。

でも、他の日はけっこう楽しかった。ダイビングをしたり、ガマに入ったり、水族館に行ったり、他にもいろいろなことを体験して良かったと思った。

4日目の夜にやったレクリエーションは、準備不足で途中でぐだぐだになったこともあったけど、それでもみんな楽しそうだったし、けっこうおもしろかった。

修学旅行で、普段あまり話したことのない人とも話せるようになったから、修学旅行に行って良かったし、また行きたいなって思った。



今回のフィリピンでの経験をいかして、大学進学後も、なぜフィリピンには、このような現実が生まれてしまうのか、その根幹に迫りたいと思います。

参加したことによって、さまざまな経験をすることが出来、また今後の私の生き方にも大きな影響を与えられました。



私は、SYDさんのボランティアアシスタントとして、フィリピンに

フィリピンボランティア

3年B組
上野 幸星 (東京都)

私にとっては、人生初めての弁論大会でした。最初は先生に言われて、面倒くさいと思いつつも取り組んでいきました。でも、練習をしているうちに、優勝したいという気持ちが芽生えてきました。そして、学校ではもちろん、寮でも練習して、優勝することが出来ました。



3年B組
高井 瞳 (鳥取県)

全道弁論大会



部活動・美術部 2-A 遠藤 春奈 (福島県)

私にとって美術部は、安心できる場所です。旧校舎の古い木造の雰囲気と、美術部がとてよく合っていて、何だかホッとするのです。そこで部活の人たちと過ごす時間は、とても楽しいです。面白くて元気な新入部員も入り、部活はますます楽しくなっています。

先日、出展した作品が入賞し、釧路市で行われた全道大会に行ってきました。大会では様々な作品が展示され、非常に良い刺激を受けることが出来ました。片道6時間の道のりは遠く険しかったですが、行くことが出来て本当に良かったです。また機会があれば、ぜひ行ってみたいと思います。

美術部では、随時入部希望者を受け付けています。先輩後輩の区別のないフランクな場所です。絵に興味がある人、興味は無いけどちょっと気になるなっていう人も、遊びに来る感覚で見学に来てください。



部活動・書道部 2-B 樹田 優 (兵庫県)

僕は、総合講座で「書道」を受講していて、その続きで書道部の活動をしています。小学校低学年から書道を習っていたので、書くことは全く苦だと感じません。たまにやる気が無かったりしんどかったりしたときは、顧問である「てっちゃん」が明るく声をかけてくれます。

10月上旬の全道大会で、苫小牧市に行きました。自分は、大会の選手というよりお客さんの感覚で、全道の作品を観に行きました。そこには想像以上の作品がたくさんあり、書の前で緊張してしまうほどでした。

三日目の席書大会は、地元企業である王子製紙さんの巨大な紙に、各班で詩を書き上げるというものでした。班員で協力し、素晴らしい作品が出来上がりました。

まだまだ未熟な自分ですが、これからも紙に気持ちを伝えていきたいと思っています。



部活動・サッカー部 2-A 佐藤 和希 (福島県)

部活の練習はしんどいです。なぜなら、ちょっとミスただけで、ダンススクワットをやらされます。だから、入部したての頃は毎日筋肉痛でしんどかったけど、数か月経つ頃には筋肉がついてきて、筋肉痛にもならなくなりました。きつい練習をこなしているうちに、上手になってきているなと思いました。

どうしてかという、この前小さな大会で優勝したからです。まさにその時、みんなが上手くなっていることを実感しました。入部したばかりの頃はただの素人だったけど、今は結構上手くなりました。自分でも、よくここまで出来るようになったなと思うくらいです。

フットサル部は今、11月中旬の大会に向けて練習しています。自分はキーパーをやっていますが、対戦相手を0点に抑えたことがありません。次の大会では、ぜひ相手を0点に抑えた試合をしたいです。



部活動・写真部 2-A 鎌田 千年星 (北海道)

私たち写真部の活動は、自分が撮りたい風景やものを、自分好みに写真に収めるということです。活動日は一応決めてはいますが、自分が写真を撮りたいときに撮るのが一番いいと思うので、昼休みや放課後に自由にカメラを借りて撮っています。最近、写真部のホームページが出来ました。HPには、部員みんなが撮った写真が載っているので、ちょっとでも気になってくれた方は、チェックしてみてください。

部員は6名という少ない人数ですが、学校生活などいろいろなことで役に立てるように、写真部一同頑張っていきたいと思っています。



支えあい、深めあう 課外活動

自分や仲間の未来、社会や地域のこと…生徒の内発性、自発性を尊重する本校では、ここに紹介した以外にも、様々な課外活動が日々生まれ、引き継がれていきます。
詳しくは、ブログで!!



部活動・ボランティア局 2-B 興津 慶行 (神奈川県)

僕は、ボランティア局に昨年から入っています。老人ホームで踊りを披露したり、お祭りのお手伝いをしたり、ボランティア活動は結構楽しいです。土日の活動では、町内のクリーン活動でゴミ拾いをしたり、少し難しかったけど人権だこ作りをしたり、普通は体験できないことに参加出来ます。強制ではないので、たのしく活動しています。

あと1年間は活動に参加できるけど、来年は局長を目指して頑張ります。ボランティア局は部員募集中です!



部活動・テニス部 2-B 山本 春奈 (北海道)

私はテニス部に所属しています。顧問は、安河内校長がやってくれています。毎日5周走り、その後に練習をします。練習内容は、基本決まっています。ほとんどは、顧問の安河内校長に指示されたことをやっています。短いラリーのはずが、長いラリーになったりして、それはそれで楽しいです。たまに、テニスの球がどこかに飛んでいっても、心の優しい人が拾ってくれるので、助かっています。でも、だんだん回を重ねるごとに、拾ってくれる心の優しい人からも冷めた目で見られるので、少し悲しくなります。

活動の時間帯は、その日によって変わります。もともと週5回の予定だったのですが、顧問の校長が忙しいのと、悪天候のせいで、あまり活動できないこともあり、少しさびしいです。



課外活動・私学助成運動 3-C 永澤 景介 (北海道)

今回の私学フェスティバルには、北星余市高校を含め6校が参加しました。内容としては、私学助成についての知識を持ってもらおうということ、それに共感してくれた方に、署名をしてもらうということでした。

本校では、より深く私学助成について知ってもらう状態を私フェスに臨んでもらうために、私学助成金委員会勉強会を行いました。その甲斐あってか、本番での皆の意欲も高かったと思います。

このイベントを通して分かったことは、私学助成について知っている人が意外に少ないという現状でした。これからの私学助成運動は、もっと多くの人に私学助成について知ってもらうことを目標にしていきたいです。



部活動・バドミントン部 3-A 安田 将玄 (北海道)

気が向いた時に、練習を楽しむために来ると、上達するために毎日練習に来る人が共存してやっています。大会にはまだ参加していないけど、大会に出場するつもりで練習をしています。

練習では、スマッシュなどをコースに打ったりします。ミスをしたらペナルティーを出して、それを実行します。その後は試合形式にして、終了後に自分たちで反省をして、次の試合に生かします。

ちょうど学校祭の時に、後志地区で大会があったそうです。大会を一つ逃してしまったので、今後は次回に向けて一生懸命練習を積み重ねて大会に臨みたいと思っています。

1点もやらないように練習をしていきますので、顧問の熊谷先生、よろしく!



スポーツ大会

夏季 7/11(木)~12(金)
冬季 12/5(木)~ 6(金)



夏季スポーツ大会テーマ エール [YELL]

~世界で一番頑張ってるキミに~
自分のクラスはもちろん他クラスや他学年も応援してみんなのやる気や団結力を高め合ひましょう!
全体種目の「大縄跳び」は1年研修会で経験したばかりの1年生が上位を独占しました

冬季スポーツ大会テーマ 「Do Your Best」

~栄光は努力の先に~
一人一人が努力した練習の成果をスポ大で発揮しよう!
団結 協力 一人一人が楽しんで全力で頑張っていけるようにしましょう!

2年生の4B期後期生徒会が初めて取り組む行事です。オープニングでは上級生からの熱いエールが響き渡りました。高校生活最後の思い出を作ろうという3年生の力強さが感じられる大会でした。



第5回 全道高等学校綱引き大会

3-A 山田 浩太郎 (千葉県)

自分は、昨年も出場しましたが、あっさりと負けてしまいました。だから今年は、リベンジという気持ちで参加しました。今回も勝つことはできなかったけど、間違いなく昨年より

強いチームになっていました。知らない人たちも、自分たちのチームを応援してくれました。そしてうれしかったのが、役員さんから「今大会一番の、長くてすごい試合だったね」と言われたことです。思い出に残る綱引き大会でした。

ブログ『北星余市は今』
学校行事、課外活動北星余市の高校生活を写真満載でリアルタイム更新! 生徒会による情報提供も!!
<http://hokuseiyoichi-ha-ima.blogspot.com/>
※6-7p上段の写真は、ブログから抜粋したものです。

